

**有意義な夏休みを!**

前期前半も今日で終了し、いよいよ夏休みがやってくる。7月いっぱいには夏課外が行われるが、8月に入ると、前期後半のスタートまで20日間という1年間でもっとも長いまとまった休みになる。

部活動でも、合宿や遠征など、日頃とは違うことに取り組む部も多いと思う。学習面においても同様に、この時期の重要性をよく考えて大事に過ごしてもらいたい。

1, 2年生は、部活動や学校行事の中核として多忙な日々を過ごしている者も多いが、それだけに効率のよい学習を心がけてほしい。できるだけ学校があるときと同じ生活リズムで過ごし、学習をどれだけ習慣化してコンスタントに取り組むことができるか、が学力向上の鍵となる。自分の苦手教科や苦手分野がはっきりしてきている者も多いだろう。苦手解消は、「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことを意識するのがコツ。各教科から出されている夏の課題をうまく活用し、この夏で弱点克服に努めよう。

3年生は、言うまでもなく勝負の夏である。三者面談が終わった生徒も多いと思うが、志望校合格には、何が、どれだけ足りないのか、把握できているだろうか。志望校の受験科目や配点を確認し、これまで受けてきた模試の結果などから自分の得手不得手を考慮して「この夏の重点項目」をピックアップすることが必要だ。「夏を制するものは受験を制する」と言われるが、志望校合格に近づくための20日間にするために、しっかり戦略をもって取り組んで欲しい。

部活動のない3年生は、1日10時間の学習時間を確保することが目標だ。コツは、まず朝は普段通りに起きて、午前中に3～4時間取り組むことだ。そうすれば、昼間に2～3時間勉強すれば、夜はいつも通りに3～4時間学習することで10時間を達成することができる。

この夏にしっかり学習に取り組んだ生徒は、秋以降びっくりするほど学力を伸ばす。そういう先輩たちをたくさん見てきた。自分を信じて、気持ちを奮い立たせて、夢に向かって頑張っていこう。この夏、ひとわり大きくなってくれることを期待している。

前期進路検討会

7月4日(火)、5日(水)の2日間、午後から3年生の進路検討会が行われた。

進路検討会では、生徒一人一人の進路志望や学習態度に加えて、6月進研マーク模試や実力考査の結果も参考にして、進路志望を達成させるためにどんな対策をとればいいのか、個々の適性にあった進路は何か、ということについて、3年生全員について議論した。

今回の進路検討会は、生徒の志望大学の学部学科の個別学力試験(2次試験)に合わせて、これからの長い期間をどう勉強するか作戦を立てる会議でもある。学部学科によっては個別学力試験の試験科目や配点が異なるため、志望者個々の学力の到達度も考慮して、対策を考えていく必要がある。

3年生の三者面談では、進路検討会で話し合った内容をもとに、具体的にどの科目をどのくらい、どの教材を使って学習していけばいいのか担任と確認していくことになる。三者面談で学習計画を立て、進路実現に向けた学習を始めよう。

自分の進路を見つめ直そう

夏休み期間は、自分の進路をもう一度見つめ直す機会がたくさんある。

2年生は、7月21日(金)に学部学科研究会が行われる。大学や大学院の先生方を本校に招いて90分の講義を受ける中で、大学で行われる授業の雰囲気や肌で感じるすることができるはずだ。自分の希望する分野の講義を受けることになるが、改めて進路を見つめ直すいい機会になるだろう。

また、各大学のオープンキャンパスに参加する予定を立てている人も多い。帰省した先輩たちや、久しぶりに会う親戚など、日頃話をする機会の少ない人とゆっくり語り合える時間もとれるだろう。1年生は文理選択を決断する時期も近づいてきているし、2年生も来年の今頃は志望校に向けてのスタートを切っている時期だ。是非この夏を、自分の進路意識を深めたい機会にしてほしい。

「オール1 先生」として知られる愛知県の高校教諭を知っていますか？

中学1年の時の成績表は9教科すべて「1」。高校には行かず、大工見習いになったが続き、その後は職を転々としていました。では、なぜ、高校教諭に？

彼は、23歳の時、アインシュタインの相対性理論を解説したビデオテープを見て、これまでの常識が覆されるような強い衝撃を受けました。そして、物理を勉強したいという思いに駆られて24歳で定時制高校に入学。ひたすら勉強をして名古屋大学に進みました。大学院に進み、卒業後は研究職の道もありましたが、「自分の経験を生かしたい」と教師を選びました。

皆さんは、日々、どのような気持ちで学習に取り組んでいますか？

人は、幼少期に「なぜ」「どうして」と色々な事に興味関心を持ってすさまじく成長します。高校生になってどうでしょう。日々の学習に対して、「なぜ」「どうして」という気持ちを持って学習をしていますか。暗記中心の形だけの学習をしていませんか？

夢を公言

高校の友人に「将来、パイロットになる」と公言していた友人がいました。本当にしつこいぐらい「パイロットになる」「パイロットになる」「パイロットになる」・・・と言っていました。しかし、彼が選んだ学部は、水産学部でした。とうとうあきらめたのだと思っていたのですが・・・。

彼は大学4年生の時、JAL、ANAの自社養成パイロットの採用試験を受けました。そして、難しい試験を乗り越え、見事、JALに採用されました。採用されたからといってパイロットになれるとは限りません。毎週、仕事、研修とは別に、英語の試験があるとのことで日々勉強をしていました。私も東京で仕事をしていたので、彼とよく会い、お互い励ましあったものでした。

あれから20年あまり。私は東京を離れたので、彼がその後パイロットになったのか知りませんでした。そして、7月13日の南日本新聞の記事に、機長として活躍している彼の姿が掲載されているのを見て、彼が夢を実現させていたことを知りました。

夢を実現した人の話でよく聞くのが、

- 夢を口に出して言いなさい。
- 夢を周りの人に言いなさい。

まさしく、彼は自分の夢を公言して実現させた一人です。

今、夢をもっている皆さん。ぜひ、胸をはって堂々と公言してみてもはどうでしょう。

夏休みを迎えるにあたって

1年後の夏休みをイメージしてみよう。部活動を引退し、残り半年を切ったセンター試験を意識しながら、孤独な受験勉強に突入している自身の姿が想像できますか？ さほど大きなプレッシャーのない2年次の暑い夏休みに、1年後をイメージしながら、自分自身をコントロールしながら、20日間という時間をいかに中身の濃いものにできるかが、今後の高校生活を大きく左右します。ただやみくもに勉強するのではなく、継続的かつ要領よく、それでいて無理をしすぎることはないよう、ポジティブな気持ちで勉強に取り組んで欲しいと思います。また、部活動の前後に自習室等に足を運び、3年生の必死な姿を見て、受験生としての覚悟を心に焼き付けておくこともお忘れなく。

1 学習面

(1) 科目ごとにテーマを決め、計画をしっかりと立てる

充実した夏休みを送るには、綿密な計画を立てることから始まります。まずは、教科・科目ごとに、何をどんなペースでやるのかをしっかりと決めること。苦手科目ほど、コンディションの良い時間帯にこなすなど工夫したい。部活動、オープンキャンパス等、既に予定がわかっているものから埋めていき、残った日時に自主な学習に充てる意識も持とう。また、せめて週1日は、その週の遅れを取り戻す「予備日（調整日）」をつくる工夫も重要です。

2. 苦手教科…これまでに使用したテキストを解き直す

2年になってから気持ちを新たに学習に取り組んでいる生徒も少なくはありません。頑張っているのに、今ひとつ結果が出ないという人はいませんか？ そういう人こそ、この20日という時間を使って、苦手な教科・分野の1年次の復習をしてください。是非、授業で扱った教材を解き直して下さい。苦手な分野をなくしていくことで、今後の学習の土台を強固なものにしてくれるはず。得意教科を10点引き上げるよりも、苦手な教科で10点引き上げる方が以外と優しいかもしれませんし、伸びを実感できるはず。です。

2 生活面

(1) 夏バテ防止策を考えて実行する — 起床・就寝時間は変更しない —

健康は最大の受験対策。大切なことは1日3食しっかり食べて、生活のリズムを崩さないこと。個人差はありますが、朝～午前中が1日で最も勉強がはかどる時間帯。昼過ぎまで寝るのは絶対にダメ。



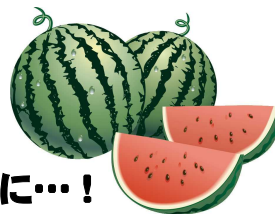
(2) オープンキャンパスに参加して、自分の進学する大学のことを知る

今後の人生を大きく左右する大事なこと。長丁場で、決して楽ではないこれからの受験勉強に継続して取り組んでいくためには、やはり明確な目標が不可欠です。モチベーションを維持していくためにも、遅くともこの夏休みには希望学部と、志望校を決定する。先日配布された「報告書（8/21提出）」を記入して、覚悟を決めよう！

(3) 誘惑から遠ざかる方法を考える

誘惑が多いのも夏休み。誘惑を避けるために、誘惑のない環境に身を置こう！ 受験生にゲームはまったくの不要品。

夏休みが終わると、前期末考査（8/26～）、第55回体育祭（9/9）、10月上旬に駿台模試（希望者）、下旬は進研模試（5教科）が予定されています。また9月以降は国内体験学習に向けての準備も本格化します。進学校の生徒としての最終目標、「大学受験」に向けた準備にひたむきに取り組みながら、その時々によれることに精一杯取り組む。そして学校行事にも精一杯取り組む。そのメリハリがしっかりできることが、高校生活すべてに大きな意味を与えてくれるはず。54期の諸君、この夏休みに身体的にも精神的にも大きく成長して、体育祭では総合優勝。学年全体で勢いに乗ったまま、模擬試験も難なくクリア、後期中間考査の欠点ゼロ。最高の形で国内体験を迎えよう。



夏、休みなのか？ センター試験まで、半年を切っているのに…！

▶8月1日時点でセンター試験まで165日。すでに半年を切っているわけだ。《夏を制する》ことはできているだろうか。暑さの中、全国約50万のライバルが汗をかいている。

浪人の先輩たちもいる。たしかに、学力が伸びている者もいる。しかし、意外と「変わらない」者もいる。「浪人すれば何とかなる」という想いを抱かないほうがいい。やはり、現役で、決めるべし！

高校生活最後のイベント、最大のフェスティバル「大学入試」を楽しみに夏を過ごしたい。

▶7月20日(木)をもって前期放課後自習が終了。沈黙&集中の自学自習。希望者は、20時まで弱点補強を目指し自学。部活動で汗を流していた時間が鉛筆を静かに握る時間となった。受験生への変容ができただろうか。クラス一丸となって励まし合いながら勉強に取り組む。切磋琢磨しつつ積極的に取り組んでいきたい。

▶国語・数学・英語についてはそろそろ仕上げの時期である。8月1日(火)～21日(月)は学校での補習もない。この時期こそ夏の天王山と気を引き締めていきたい。各自計画を立てているだろう。与えられた課題を消化することはもちろん、それぞれ設定した、自分に必要な学習内容をぜひやり遂げよう。夏のこの時期にこそ本気になれ。この夏は休めない。コマのように回り続ける、それが鹿児島中央イズムだ。

大学入試センター試験出願もすぐやってくる…！

前期前半も終わり、いよいよ受験に向けた追い込みの時期を迎える。夏季休業中の学習や前期末考査に全力で取り組みたい。さて9月になるとセンター試験出願もやってくる。しっかり理解し、不明な点は事前に確認しておこう。

<センター試験の時間割>

期 日	出題教科	試験時間	備 考
平成29年 1月13日(土)	地理歴史 公 民	2科目受験 9:30~11:40 1科目受験 10:40~11:40	※ 第1解答科目については志望校の指定確認
		13:00~14:20	
	外 国 語	<筆記> 15:10~16:30 <リスニング> 17:10~18:10	
1月14日(日)	理 科 ① 基礎科目	9:30~10:30	60分で2科目を選択解答 解答用紙は1枚(表面に2科目分を解答)
	数 学 ① I・A	11:20~12:20	
	数 学 ② II・B	13:40~14:40	
	理 科 ② 専門科目	2科目受験 15:30~17:40 1科目受験 16:40~17:40	※ 第1解答科目については志望校の指定確認

<注意点>

■大学入試センター試験に関しては、提出期限等はきちんと守ること！

3教科以上(成績開示) 18,800円 / 2教科以下(成績開示) 12,800円) 必ず、受付窓口で！

■「受験教科事前登録制」⇒ ① 受験教科名 ② 地理歴史、公民及受験科目数 ③ 理科の科目選択方法
※ 出願時に登録した内容を出願後(試験当日を含む)に変更することはできない。志願者本人が記入。